

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取湖陵高等学校

重点項目	I C T活用教育	提出日	令和4年4月28日
------	-----------	-----	-----------

1 学校目標
「多面的な取組で地域産業を担う専門人材を育てる教育を推進する」 ①実験実習、資格取得などの実践的な教育を基礎に、習得した知識・技能を社会で活用する基礎的な力も養い、勤労観・職業観を育て、キャリアの充実を図る。 ②新たな学び方を通し、生徒の主体的で深い学びを促し他者と協調する能力を養う。 ③人権尊重の心を育て、自他ともに尊重する共生の精神を形成する。 ④生徒一人ひとりの心情を理解し共感と相互信頼に基づいた指導を通して、規範意識を高め、市民としての素養を身につける取組を進める。
2 重点項目に係る目標
重点目標：学びを創造する力を高める教育の推進 ・実践的な専門教育を通じ、産業界で必要とされるより高度な知識、技能に挑戦する。 ・ICT活用教育を推進し、複雑で高度化する情報社会で生きる力をつける。 ・BYODの成果と課題を検証し、「一人一台端末」を有効に活用した学習環境を実現する。 ・協同学習の理念を基盤にしたアクティブな学びを実践し、主体的で深い学びに導く。 ・専門教科と共通教科の連携等の工夫を行い、学力や学習意欲の向上を目指す。 <数値目標> ○タブレット端末を使うことで授業に関心を持ち、主体的に取り組むようになった生徒の割合 (学校全体 学校評価アンケートより H29 56.2%、H30 67.7%、R1 69.7%、R2 69.2%、R3 68.4%)をR4目標70%以上(アンケート等評価基準B以上) ○ICTを活用した交流学习を通して、コミュニケーション能力が向上した生徒の割合 (情報科学科、情報科学科アンケートより H29 88.3%、H30 86.7%、R1 68%、R2 87.6%) R3 76.0%を、R4目標80%以上(アンケート等評価基準A以上) ○タブレット端末を活用して授業を実施した教員の割合 (教職員、県活用状況調査より H30 70.8%、R1 68.8%、R3 87.5%)→R4目標90%以上 (アンケート等評価基準A以上) ○教職員へタブレット端末またはChromebookを貸与した割合 R2 81%→R3目標100%(アンケート等評価基準A以上)

(様式1)

3 事業計画（事業名、事業概要）

【高等学校課事業】

(1) 「主体的・対話的で深い学び」(教員スキルアップ事業)

協同学習、ICT 機器を取り入れた研究会を行い、大学等の研究者等から理論、実践面について指導を受ける。公開授業や授業研究会等は自校のみならず、他校の教職員にも案内の上、実施する。

【独自事業】

(1) ふるさと交流事業

鳥取豊学校、近隣小学校を対象としたタブレット端末とプログラミング交流
本校施設、小学校施設およびオンラインでの交流

(2) 実践による創造力向上事業

鳥取県の魅力発信事業

地元デザイナーに、ノベリティグッズのデザインをテーマに、デザインの方向性、工程作業等の指導を受ける。

(2) 指導力向上事業

アクティブラーニングの推進（一部高等学校課事業）

- ・ ICT 活用・協同学習に関する研修会の開催
- ・ ICT 活用（タブレット活用・BYAD を含む）研究のための視察・研修、成果の公開及び環境の整備
- ・ 各種研修会への参加（授業改善や生徒指導のヒントや教育についての最新の知見を得るための情報収集・デジタル教材の導入等の取組み検討）

※枚数任意